



## Governor's Message

国際ロータリー第2750地区  
2020-21年度ガバナー

福原 有一

### 上善は水の如し。

### 水は善く万物を利して争わず

3月は日本では年度が替わり、卒業式や送別会が行われます。このコロナ禍ではどうでしょうか？ 本来ならば2月22日から23日に行われるはずだった地区大会は5月26日、1日の開催となりました。私としては可能な限り実施したいのですが、現状を考えますとこれまでの形式では難しいかもしれません。そして、6月12日から16日まで開催される予定だったRI国際大会、皆さまと直接お会いしたいのにバーチャル対応となり、これもまた残念な気持ちでいっぱいです。

さて、新アメリカ大統領ジョー・バイデン氏が、パリ協定への復帰、WHOの脱会に向けた手続きの中止など国際協調へ向けて進み始めましたが、中国との向き合い方はどうなるのでしょうか？ TVのニュース番組を見ていると、米中対決は香港やウイグルでのことを踏まえ自由主義と全体主義の争いだという方もおられました。しかし中国の巨大市場でアメリカや日本が大きな利益を上げているのも現実です。また中国も安定した国際情勢の中で経済を発展させてきました。米中対決はどちらの側にも利益を生みません。アジアの長い歴史の中で、思想や宗教を中国と共有している日本の立ち位置は重要性を増していると思います。

「上善は水の如し…」は紀元前6世紀に中国三大宗教(儒教・仏教・道教)の一つ“道教”を開いた老子の言葉です。水の性質を人の生き方に結び付け、「水はあらゆる

ものに恵をもたらしながら争うことがなく、しかも長い年月をかけて固い岩をも削り、隙間があれば入り込み、どんな形にも変わる。最後には人の嫌がる低い地に流れ着き留まることも厭わない。これこそが人の道だ」と説いたのです。その老子が生まれた中国が南沙諸島や尖閣諸島で海洋進出？

今月は水と衛生月間です。少し前の話ですが、イギリス大手の新聞『ガーディアン』によると2016年、15年ぶりにフランス・パリにあるサン・マルタン運河が清掃を目的に排水されたそうです。その底にあったものは自転車、バイク、スーツケース、ショッピングカート、テーブル、椅子、ベットフレーム等々でした。これはフランスだけのことでしょうか。私たちが普段は散歩したりジョギングしたり、写真を撮って楽しんでいる川や運河の底にもこのような物が捨てられているのではと心配します。それが多摩川なら私たちはそこから摂取した水道水を飲んでいることとなります。私は小学生の低学年のころまで多摩川で泳いでいましたが…。

「水の惑星」と地球は呼ばれています。水は豊かなはずなのに、その地球でなぜ水不足や水の衛生問題が起こるのでしょうか。理由は地球の水のうち私たちが使える淡水は0.01%から0.02%しかなく、あとはほとんど海水(97.5%)か南極や北極の氷や氷河としてあるからです。しかも使える水でさえ人口増加とそれによる汚染で危機を迎えている状況です。人口増加で人類の水の使用量は50年前に比べると3倍の量に達し、また衛生問題では水系感染症と不衛生な生活用水で命を落とす子供の数は世界で毎日5,000人前後にも達するそうです。

水不足は人類だけでなく、生物の多様性にも影響を与えています。人類の過剰な地下水の摂水や森林の伐採により河川が枯れ、また湿原や湖がなくなり、そこで水をよどころに生活していた多くの生物が絶滅および生存の危機に見舞われています。

そのような状況下、ロータリークラブは世界のさまざまな地区で、井戸を掘る運動を助け、水を浄化する機器を提



前ページの続き

供し、飲み水を配給する活動に参加してきました。それと同時に、国内ではロータリアン自身が海や川を汚さないようにペットボトルやプラスチックゴミを減らす運動をし、「水と衛生月間」を身近なことから始めました。世界はコロナ禍のなかで、新型コロナウイルス以外は目に入らないような状況なのかもし

れませんが、私たちロータリアンはきちんと結果を残したいと思います。将来は海の水を淡水に安価で変える技術が生まれるかもしれませんが、廃棄されたら自然に還るプラスチックに替わる安価な素材が発明されるかもしれません。テクノロジーの発展や新発明が期待されますが、それまでは身の回りのできることを続け「生命の起源」と言われる水を守りましょう。

「私のバリアフリー・マインドシリーズ」⑧ 『バリアフリー・マインド』は“1 serve”

多摩東グループ ガバナー補佐 関戸 達哉 (東京多摩RC)

今年度、福原ガバナーは地区のテーマとして『バリアフリー・マインド』を掲げた。サブタイトルとして、～相手と同じ視線に立つということ～とあり、また「バリアフリー・マインドとは、奉仕する側もされる側も同じだという心のあり方」としている。ガバナー補佐を仰せつかったからには、ガバナーの思いを少しでも汲まなくてはと「バリアフリー」についておさらいし、『バリアフリー・マインド』について考えてみることにした。

バリアフリーという言葉を書くようになってから久しい。国は2006年(平成18年)にバリアフリー新法を公布、施行し、高齢者、障がい者、妊婦、怪我人などの移動や施設利用の利便性や安全性の向上促進を行うことを法律によって定めた。それ以前からバリアフリーという言葉はあったが、爾来公共交通機関、建物、道路、公園等々が、新しく建設、導入される場合にはバリアフリー化基準(移動等円滑化基準)への適合が義務付けられ、また既存の施設にも努力義務としてそれが課せられたことにより、一般市民の口にもしばしば上る言葉となった。

そんなことを調べているうちに、『心のバリアフリー』という言葉に出遭った。当時内閣府が作成した「バリアフリー新法の解説」のなかで、国や国民の責務としてバリアフリー化の促進に関する国民の理解・協力を、『心のバリアフリー』という文言を使って求めている。つまり、建物や道路などに

ある物理的なバリアを無くそうという意識を持つことを『心のバリアフリー』と名付けたのだ。この言葉を見つけたとき、一瞬、福原ガバナーの提唱する『バリアフリー・マインド』は『心のバリアフリー』の単なる英訳? お上の作った文言のパクリ? などという疑念が脳裏をよぎった。だが、よく考えてみればそうではなさそうだ。お上の言う『心のバリアフリー』は「物理的な障壁を無くしていきましょう」という現実的な目標を表す言葉であり、ガバナーの言う『バリアフリー・マインド』は奉仕する側もされる側も同じだという心のあり方、すなわち理念を表している。『心のバリアフリー』も『バリアフリー・マインド』も、成熟した社会を作る上で大切なことに間違いはない。ロータリー流に考えるならば、『心のバリアフリー』は社会にある目に見える障壁を皆でなくそうという「社会奉仕」的な“We serve”であるのに対し、自分の心の中にある目には見えない障壁をなくそうという『バリアフリー・マインド』の理念は、どちらかという「職業奉仕」に近く、“1 serve”と言えるのではないだろうか。ロータリーの金看板と言われた「職業奉仕」が、「社会奉仕」をはじめとする他の奉仕活動に気圧され気味な昨今、“1 serve”という言葉もなかなか聞かれなくなった。『バリアフリー・マインド』と“1 serve”いう2つの素敵な言葉とその崇高な精神が、ロータリアンのみならず、広く社会に流布していくことをこのコロナ禍に祈りたい。

年間の月間テーマ	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	● 会員増強新クラブ結成推進月間	● ロータリーの友月間 ● 基本的教育と識字率向上月間	● 米山月間 ● 地域社会の経済発展月間	● ロータリー財団月間	● 疾病予防と治療月間	● 職業奉仕月間	● 平和構築と紛争予防月間	● 水と衛生月間	● 母子の健康月間	● 青少年奉仕月間	● ロータリー親睦活動月間

## ポンペイの小学校にまん延する疾病を救った「水と衛生」プロジェクト

プロジェクト名: Sapwalap Sanitation Project  
プロジェクト番号: GG1529102

第2750地区 PBグループ ポンペイロータリークラブ (2016-17年度) 会長 Noel Boylan  
第2750地区 ロータリー財団委員会 補助金委員会 (2020-21年度) 委員長 島谷 恵介

「水」は命の源であり、それは清潔で安全でなければなりません。発展途上国のおよそ80%の疾病は、不衛生な水環境により発生していると言われており、それによって今この瞬間にも幼児や児童でさえ命を落としています。「水」と「衛生」は、切り離して考えることはできない、世界中の大きな問題の一つであります。

2015年、ミクロネシア連邦ポンペイ島の小学校では、前ぶどう膜炎や結膜炎、表在性角膜炎と思われる「レッド・アイ(赤目)」や呼吸器疾患、下痢等の消化器疾患、湿疹などの皮膚疾患が児童にも教師間にも、また小学校を訪れる保護者にもまん延していました。その原因は小学校内の水洗トイレにありました。水洗トイレはアメリカ合衆国により設置されたのですが、学校の構造上、水洗を作動させるためには、ポンプで水をくみ上げる必要があり、それには電気が必要でした。ただ、学校側はその必要とされる電気代をすべて賄う体力がなく、ここ数年は電気が使えず水洗トイレでありながら水を流せない状態にあり、手を洗う設備も当然使えない状態でした。そのため、トイレは非常に劣悪な衛生状態に加え、手を洗うこともできないため、児童も、そして教師や保護者までも眼病に侵される深刻な状態でした。この電源を確保するため、ロータリー財団のグローバル補助金で相応の予算を確保して、学校に巨大なソーラーパネル設置する「水と衛生」に起因する疾病の根絶プロジェクトに取り組むことができました。

プロジェクトは、ポンペイロータリークラブと東京世田谷ロータリークラブが主体となり、当時の高橋茂樹ガバナー補佐のご協力により山の手西グループのすべてのクラブが賛同し、ミクロネシア連邦ポンペイ州教育省や非営利団体 MAHI International、さらには当時 JICA に勤務されていた医師中園直樹氏の協力により、難度が高いと言われるソーラーパネルの設置による「水と衛生」プロジェクトがスタートしました。

この水洗トイレには、雨水をためてトイレを洗浄すると同時に手洗いの水をろ過する装置が備わっています。プロジェクトにはろ過フィルター、ソーラーパネル、電気設備等々の設置、そして継続して使うためのメンテナンスと衛生教育が含まれていました。



▲ 学校敷地内に配置されたソーラーパネル



▲ 直流を交流に変換するインバーター ▲ MAHI International による衛生に関する教育の様子

申請は足掛け2年を要しましたが、学校の水洗トイレ及び手洗い装置は再び機能を取り戻し、疾病は根絶され安全な学校環境を確立することができました。

「水と衛生」プロジェクトで重要なことは、最初にどんなにいい設備、システムを導入しても、それを継続的に利用できる仕組みと、そこにいる人々によってメンテナンスが十分に行われる環境を同時に作り上げることです。このプロジェクトでは、設置後の教育に特に力を入れました。設備と仕組みの導入に合わせて、児童たちには水の大切さとともに、それを衛生的に保つことの重要性をきちんと伝えられたことがプロジェクトの最も大きな成果であったと思っています。

ポンペイ・ロータリークラブでは、多くの方々のご協力により成しえたこのプロジェクトを、プロジェクト終了後も定期的に視察しています。これからもクラブの活動の一環として水と衛生の大切さを地域のコミュニティに伝え続けていきたいと思えます。

以上、第2750地区が手掛けた「水と衛生」プロジェクトの実例の一つをご紹介します。



コーディネーターニュース 2021年3月号

第2地域ロータリーコーディネーター 水野 功 (東京飛火野 RC)



コーディネーター 2021年3月号 No.1  
**NEWS**

発行: Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

### 地区戦略計画推進委員会の紹介

「第3地域ロータリーコーディネーター会議」の参考として、近隣5地区に、戦略計画委員会の常設、委員会規定の制定、毎年の検証と次年度への申し送り、構成メンバーの5項目をアンケートでお伺いした結果は、全地区に戦略計画委員会は設置してありましたが、3/5は、規定や毎年の見直しがありませんでした。

私が所属する2700地区も戦略計画委員会の設置は、2016年に組織と規定が整備されたものの、他地区と同様に、構成メンバーが、直近の地区役職者に毎年交代して、RIの新しい情報を共有するメリットはあったものの、デメリットとして、地区の継続計画（5ヶ年計画等の長期計画）の検証と分析による確実な申し送り事項の作成や、ガバナーを経験してから考えつく地区の諸問題等々の分析と提案をするための時間的、地区役職者としての立場等々の問題が見えてきました。

このような問題を解決するために、戦略計画委員会の下部組織として以下のような「地区戦略計画推進委員会」を設置し、戦略計画委員会を支援することで、地区運営の効率が上がっていることを、参考として紹介いたします。（以下抜粋）

目的と任務:

- 地区戦略計画委員会の下部組織として設置し、戦略計画委員会委員長からの付託を受けて、戦略計画室が検討や審議する事項の資料収集や提言案等を纏め、戦略計画委員会に提出する。

構成員と任期等:

- 委員会構成メンバーは3名とし、地区運営に詳しい、地区幹事経験者又は地区委員長経験者。
- 委員の任期は3年を原則として、欠員が生じる場合、地区幹事経験者又は地区委員長経験者から補充する。
- 委員会の委員長は3名の中から委員長を互選し、委員長任期を3年以内とする。
- 構成メンバーの他に、顧問として 地区ガバナー経験者1名を置く。

顧問は、戦略計画委員会が推薦する地区ガバナー経験者とし、任期は原則3年とする。

- 委員会の会合と場所

委員会は、概ね戦略計画委員会開催の1ヶ月前に開催をするが、戦略計画推進委員会からの開催要望あれば、随時開催して付託に応える。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫(宗像 RC)

新型コロナウイルスの感染者が日本で最初に報告されたのは、昨年1月15日に中国・武漢からの帰国者でした。それから1年以上も経ちますが、終息が見えずクラブの活動も縮小しています。

しかしコロナ禍にあっても、ロータリークラブは様々な奉仕活動を実施しています。例えば2640地区（和歌山・大阪南部）は世界ポリオデーに高野山真言宗総本山金剛峯寺で「ポリオ根絶と新型コロナ収束」を祈願する法会を開催されました。宗教や宗派を超え、力を合わせて取り組んでいきたいとのメッセージを添えてfacebookで中継し、メディアでも報道されました。また2660地区（大阪北部）は昨年6月に地区内全クラブ協賛のもと、大阪府および大阪府内医療機関・福祉施設に医療用マスク、防護服、フェイスシールド、災害対策用テントを寄贈し、各病院や府庁での贈呈の様子がメディアに取り上げられました。これら大規模なものに限らず、各クラブが各地域のニーズに応える奉仕活動を行い、その報告を地区ウェブサイトに掲載しています。

コロナ禍によって人々の意識は変わったと思います。何処かで誰かのために役にたちたいと思う方が増えたのではないのでしょうか。これこそが新たな奉仕活動に取り込むチャンスです。地区や他団体と共同で奉仕活動に取り組むことでロータリーの公共イメージが高まります。

従来どおりの奉仕活動が困難となった今こそ、クラブはこれまで以上に創造力を働かせ一つ一つの奉仕活動を工夫してください。そして活動について自ら発信し、地域の人々に知ってもらい、参加してもらうことに繋げましょう。以前から日本のロータリーは他の奉仕団体に比べ、アピールが弱いとも言われています。対外的に発信することは単なるPRではなく情報の交換であり提供です。近隣のクラブの取り組みを自分のクラブに応用すれば新たな奉仕活動が生まれるでしょう。ロータリークラブを知ってもらえれば地域社会から協力のオファーが来るかもしれません。

皆さんの地元での活動がロータリーの名を広めます。そして世界ポリオデーにすべての地区が活動しポリオ根絶を支援すれば、メディアを通じてロータリークラブが世に周知されます。

ロータリアンである皆さんひとりひとりが広報マンになってください。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 片山 勉(大阪東 RC)



お知らせ

2021-22年度 **地区チーム研修セミナー** の開催日が変更となりました

この度のコロナ禍緊急事態宣言の延長を踏まえ、当初予定をしていました「地区チーム研修セミナー」の日程を下記の通り

**3月4日(木) → 3月9日(火)**

に変更させていただきました。

ご予定を立てていただいた皆様には大変申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。つきましては日程変更にご注意いただき、会場では感染防止対策徹底し、ソーシャルディスタンスを保つよう計画しております。目標をより明確にし、一致団結の場といたく皆様のお越しをお待ち申し上げます。

国際ロータリー第2750地区 ガバナーエレクト 三浦 眞一  
次期地区研修リーダー 大槻 哲也

～ R12750地区ホームページより ～

この記事は、各クラブへの  
「ガバナー月信 配信版」で  
ご参照ください。

# ★国際ロータリー第2750地区会員数報告(1月分)★

District 2750 Membership Report January 2021

G	クラブ名	例会	会員数			G	クラブ名	例会	会員数		
			20年7月1日	21年1月末	増減				20年7月1日	21年1月末	増減
千代田グループ	東京南	1	184	187	3	山の手西グループ	東京自由が丘	0	16	16	0
	東京芝	1	56	59	3		東京米山友愛	3	35	37	2
	東京新橋	0	56	54	-2		東京米山ロータリーE クラブ2750	2	34	34	0
	東京赤坂	1	45	45	0		東京代官山	1	28	28	0
	東京みなと	1	32	30	-2		東京八王子	0	63	61	-2
	東京麻布	1	15	17	2		東京町田	1	57	56	-1
	東京グローバル	3	20	20	0		東京日野	3	34	33	-1
銀座日本橋グループ	東京銀座	1	180	182	2	多摩南グループ	東京八王子西	3	111	110	-1
	東京日本橋	0	204	203	-1		東京町田・中	1	28	27	-1
	東京築地	0	69	69	0		東京八王子東	0	32	34	2
	東京日本橋東	0	41	42	1		東京八王子南	4	78	77	-1
	東京中央	0	203	201	-2		東京町田サルビア	0	35	36	1
	東京日本橋西	0	45	44	-1		東京飛火野	4	22	22	0
	東京銀座新	0	79	79	0		東京町田東	0	30	30	0
	東京シティ日本橋	1	38	36	-2		東京八王子北	0	43	43	0
	東京中央新	2	56	60	4		東京立川	0	119	117	-2
	東京あけぼの	2	20	20	0		東京小金井	2	38	36	-2
京浜グループ	東京山王	3	36	38	2	東京国分寺	0	32	30	-2	
	東京羽田	0	55	52	-3	東京三鷹	0	42	39	-3	
	東京品川	0	41	42	1	東京昭島	1	55	53	-2	
	東京大森	1	35	39	4	東京国立	1	47	45	-2	
	東京品川中央	0	30	29	-1	東京立川こぶし	0	87	91	4	
	東京田園調布	1	48	48	0	東京井の頭	0	23	23	0	
	東京港南マリーナ	1	18	17	-1	東京昭島中央	0	48	48	0	
	東京大崎	0	24	25	1	東京武蔵国分寺	1	42	42	0	
	東京蒲田	0	59	63	4	東京小金井さくら	0	25	26	1	
	東京京浜	0	26	25	-1	東京国立白うめ	1	17	17	0	
山の手東グループ	東京田園調布緑	0	18	18	0	東京ピースウィングE	4	23	23	0	
	東京白金	1	24	27	3	東京府中	0	55	55	0	
	東京高輪	0	23	20	-3	東京調布	0	64	62	-2	
	東京西	0	197	195	-2	東京多摩	0	20	20	0	
	東京城西	3	67	67	0	東京狛江	0	14	13	-1	
	東京西南	1	44	43	-1	東京稲城	0	28	27	-1	
	東京原宿	1	17	16	-1	東京武蔵府中	0	39	40	1	
	東京杉並	0	41	39	-2	東京たまがわ	0	20	18	-2	
	東京神宮	3	24	24	0	東京多摩グリーン	1	29	28	-1	
	東京恵比寿	0	117	112	-5	東京調布むらさき	0	66	64	-2	
山の手西グループ	東京広尾	4	24	25	1	東京iシティ	1	18	18	0	
	東京渋谷	0	35	36	1	Guam		*52	51	-1	
	東京六本木	2	53	52	-1	Saipan	4	*40	43	3	
	東京愛宕	1	31	31	0	Tumon Bay		*59	55	-4	
	東京世田谷	0	44	45	1	Northern Guam		*31	31	0	
	東京目黒	3	33	34	1	Pohnpei		*18	16	-2	
	東京成城	0	17	17	0	Palau	2	14	16	2	
	東京世田谷南	1	97	89	-8	Guam Sunrise		*15	14	-1	
	東京城南	0	13	14	1	Truk Lagoon		8	8	0	
	東京山の手	0	70	69	-1	Pago Bay Guam E		*23	25	2	
東京成城新	0	31	31	0	国内88クラブ計		4,364	4,341	-23		
東京青山	0	16	15	-1	地区97クラブ計		4,624	4,600	-24		

\*印は暫定値

## 国際ロータリー第2750地区 2020-21年度 ガバナー 福原 有一

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2020-21 Governor Yuichi Fukuhara

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行:ガバナー 福原 有一(2020-21) Yuichi Fukuhara 2021

編集・制作:ガバナー月信・年次報告委員会 委員長 渡辺 和彦(東京銀座) 副委員長 二神 典子(東京築地) 諸星 宗幸(東京八王子西)

委員 須賀川 誠(東京銀座) 太田 智(東京中央) 高柳 公康(東京六本木)

浅川 立憲(東京八王子西) 端 晶弘(東京立川) 竹平 時彦(東京大森) 荒木 賢一(東京南)

ホームページアドレス

<https://www.rid2750.org>